

保育施設 基本情報

|   |  |
|---|--|
| 園・施設名   | 森のなかま保育園（武蔵浦和ルーム）  |
| 経営主体  | シンリツ株式会社   |
| 所在地   | 埼玉県さいたま市南区鹿手袋4-31-17   |
| 定員  | 0歳児：6名、1歳児：7名、2歳児：6名、3歳児：、4歳児：、5歳児：  |
| 代表者名  | 関根 博   |
| 園長名   | 湯本早紀子  |
| 採用担当者   | 湯本早紀子  |
| 電話番号  | 048-844-1711   |
| 保育理念<br>保育方針<br>保育目標  | <p><b>【保育理念】</b><br/>○子どもの人権や主体性を尊重し、保育園と家庭、地域社会が連携し、心身ともに健康な子どもを育てる<br/>○自己肯定感を育み、自分の道を切り開く力をつける</p> <p><b>【保育方針】</b><br/>○一人ひとりの気持ちに寄り添い受容する<br/>○基本的な生活習慣の自立（生活リズムを整える）<br/>○様々な経験をする（遊びを通した様々な経験）<br/>○自己主張と折り合いをつける（自分と向き合う力を育てる）<br/>○「食」や「いのち」を大切に感謝する心を育てる（食べるって楽しいね！関わる全てに「ありがとう」の気持ちを持つ）</p> <p><b>【保育目標】</b><br/>○他者を思いやる子<br/>○健康な体を持つ子<br/>○感性豊かな子<br/>○自己肯定感を持つ子</p> |
| 保育環境  | 木のぬくもりを感じる園内には、お日様の光が優しく差し込み、暖かくおだやかな時間がゆっくりと流れていきます。保育室にはのびのびと子ども達が遊びを楽しめるよう、保育者の手作り玩具や、発達に応じた玩具が並びます。園バスを利用して出かける園外活動は、子ども達が大好きな時間です！公共のルールやマナーを学びながら、地域のひととのふれあい、自然とのかかわりを通して、心身ともにたくましく成長していきます。   |
| ホームページURL   | <a href="https://morinonakama.jp/">https://morinonakama.jp/</a>  |
| 事前質問  | 《保育の質》についてのお考えをお聞かせください。   |
|   | 子どもたち一人ひとりと丁寧に関わる中で、しっかり気持ちに寄り添い、受け止め、共感することを大切にしています。ゆとりある保育環境を心がけ、日々子どもと一緒に遊ぶ中で子ども達のありのままの姿を受け止め、子ども理解に努めています。また、積極的な研修参加により、保育者としての専門性を十分に発揮できるよう学びの機会があり、園内研修や職員間での情報共有も行われています。   |
|   | 「保育の質の向上」のために取り組んでおられることについて、具体的にご紹介ください。  |
|   | 保育者の心に余裕、ゆとりがないと、保育者自身の気力や笑顔もなくなり、保育（仕事）が楽しいものから苦痛に変わります。そんな保育者と1日過ごす子ども達に豊かな心、感性を育むことは出来ませんよね。まずは、保育者自身が、生き生きと自信をもって子ども達と一緒に遊びを楽しむことに専念できるよう、時間的な余裕を持つことや、役割に応じた業務内容の分担をしっかりと行っています。子ども達の日々の生活、成長・発達が保証されることが、保護者の安心・園への信頼にもつながります。全職員が子ども一人ひとりとじっくり関わる保育を実践していくことで保育の質を保証し、向上することに努めています。  |
|   | 学生の就活において「職員同士の人間関係」が重視されていることについて、お考えをお聞かせください。   |
|   | 働きがいがあり、働きやすい職場環境において、職員同士の良好な人間関係が重要なのは最もだと感じます。私たちの園では、保育士が生き生きと働ける現場を尊重する会社の運営方針に基づき、自分たちが働きやすい環境づくりを実践しています。様々な年齢、経験の異なる職員が意見を出し合える、わからないことを気軽に相談できる、風通しの良い職場環境を維持できるよう努めています。   |
|   | 乳幼児期における「子どもと保育者の望ましい関係」についてのお考えをお聞かせください。<br>また、そのような関係を築く上で大切にしていること、実践していることを具体的にお教えください。   |
|   | 保育園で生活する乳幼児にとって、保育者は第二の親だと考えています。信頼できる保育者からたくさんの愛情をそそいでもらい、たくさんのお話を経験し成長していく中で、自己肯定感が育まれ、何ごとにも主体的、積極的に活動に取り組めるようになります。様々な経験の中で、時には負の経験をすることもありませんが、見守りの中で自分で乗り越える力を育てていくように努めています。   |
| 生活習慣の自立に向けた援助や関わりで大切にしていることについて、簡単な事例を基にご紹介ください。  |  |
| 乳児期のうちから自分でやってみようとする子どもの気持ちを大切にし、保育者側が待つことができるゆとりある保育を実践しています。援助のタイミングを見計らい、適切な援助をすることで子ども達の満足感や達成感、「次もやってみよう」とするやる気の芽を大切に育てています。また、生活習慣の自立は保育園だけでは難しく、家庭の協力も必要です。保育園と家庭との良好な信頼関係ができ、連携していくことで、子ども達の発達の道のりを同じ方向に、同じ速度で歩んでいくことを大切にしています。 |  |
| 学生へのメッセージ   | 森のなかま保育園は、子ども達一人ひとりとじっくり関わり、様々な経験ができる場所です！保育士という資格を存分に活用し、現場では自分の得意分野を十分に発揮し、専門性を磨いていくことができます！有休消化率の高さと、残業なし！も魅力です！仕事と、プライベートがしっかり分けられるのでとても働きやすいですよ。みなさんと一緒にお仕事できる日を楽しみにしています！  |